

心理**福島学園 指導支援課**

平成29年度採用

わたしを表すKEY WORD

#地元を離れて

私は県外の出身で進学を機に福島県に住み始めました。地元を離れて就職することへの迷いもありましたが、福島県の居心地が良く、今では地元に戻る楽しみがあるのもいいなと思っています。

#切り替え

仕事上、上手くいかずに落ち込むこともあります。気持ちを切り替えて次に進むように意識をしています。昼休みに外を少しだけ散歩することやコーヒーを一杯飲んだりして、自分なりの切り替えをしています。

#野球観戦

#コーヒー好き

#温泉

**[職歴]**

H29～ 障がい者総合福祉センター 知的障がい者福祉課

R3～ 福島学園 指導支援課

1人1人が自分らしく暮らせる福島に

児童自立支援施設で心理判定員として勤務しています。児童自立支援施設は非行児童が入所する児童福祉施設で、私は定期的に在園児童と面接を行い、入所理由となったことの振り返りや生活上の悩みごとなどについて一緒に考えています。

その中で、子どもたちが自分の気持ちを自分の言葉で話せるようになったり、前向きな考え方ができるようになったりと、成長を直に感じられるところにやりがいを感じます。

県職員を目指した理由

進学を機に住み始めた福島県の気候や、浜通り、中通り、会津といったそれぞれの地域に魅力を感じ、また何より自分の学んできたことを生かせる心理判定員の業務に関心があったため、福島県職員を志望しました。



とある一日のスケジュール

| | |
|-------|------|
| 8:30 | 始業 |
| 9:00 | 書類整理 |
| 10:00 | 打合せ |
| 12:00 | 昼休み |

| | |
|-------|---------|
| 13:00 | 記録・資料作成 |
| 15:30 | 心理面接 |
| 16:30 | 記録作成 |
| 17:15 | 終業 |

自身の職種の魅力・面白いところ

支援の仕方に明確な正解がなく、色々な捉え方考え方ができるところが魅力と感じます。難しさもありますが、自分の職種だけでなく、他職種の方々とも一緒に考えながら、工夫をして関わった子どもやその家族が、より良く生活できるようになれば、とても嬉しく思います。



福島県職員として実現したいこと、目標としていること



関わっている子どもたちに対して、何ができるかを考え、実行する力を身につけていくことが目標です。まだまだ、周囲の力を借りることも多いですが、少しでも自分が関わっている子どもや家族の役に立てるよう、日々の研鑽を大切にしていきたいと考えています。

受験者へメッセージ

心理判定員の職場は複数あり、それぞれの現場で経験を積むことができるのも魅力の一つです。大変さもありますが、その分やりがいもある仕事です。福島県で働きたいと考えている方、お待ちしております！